



本村幼稚園 11月の園だより

令和5年10月31日 港区立本村幼稚園長 山崎 高志

園長 山崎 高志



寒暖の差が激しく、なかなか気候が安定しない日が続きます。冬はもうすぐ、目の前といった感じでしょうか。

さて、10月26日(木)にあらかわ遊園へ遠足に行ってきました。春の遠足は嵐の中で実施しましたが、今回はまさに秋晴れの気持ちの良い天気の中、遠足に行くことができました。当日は9人の園児を6人の大人で引率しました。保護者の皆様のご協力のおかげで、園児全員が予定の集合時刻に麻布十番駅改札口前に集合し、予定通り出発できました。駅の階段では手すりにつかまり1列で階段を降り、それ以外の場所ではペアで手をつないで行動しました。通勤時間帯の南北線の車内は混んでいましたが、園児は静かに立っていることができました。途中の飯田橋駅から王子駅までは座ることができました。その後、東京さくらトラムに乗り換え、王子駅から4駅の荒川遊園地前駅までの区間を静かに立っていることができました。公共交通機関を利用することは、少人数幼稚園だからできることです。ここで社会的ルールやマナーが学べます。駅を降りると、遊園地の雰囲気が感じられ、子供たちのテンションは高まりました。あらかわ遊園内に入ると、まずファミリーコースターに乗りました。1つの号車の前席に1人の子供が、後席に1人の大人が乗るので、3回に分けて、全員が乗りました。初めて乗るので心配していた園児もいましたが、乗車後は、「また、乗りたい」と話していました。そして次に向かった先は、メリーゴーランド。どの子も自分が乗りたい動物を自分で決めて乗りました。ファミリーコースターでもメリーゴーランドでも、乗車している園児も、乗車順を待ってそれを見ている園児もお互いに手を振っている姿がほほえましかったです。その後、観覧車、豆汽車、そしてウォーターシューティングライドに乗り、その間園内で会う他の幼稚園児や地域の老人に声をかけられ、元気に挨拶を返すこともできました。昼食後もロングすべり台やふわふわドームで元気よく遊び、帰りは少しお疲れモードになりましたが、無事に麻布十番駅まで戻ってくることができました。ご家庭では、遠足のどのような話題が出たでしょうか。

遊びの中には様々な気付きや学びがあり、幼児期は発達の過程で自分が見たり聞いたり、触れたりするなどの直接体験がとても重要です。折しも11月3日は文化の日です。遊びは立派な文化です。家庭でもいろいろな遊びを体験させてみてはいかがでしょうか。

